

職業安定局高齢・障害者雇用対策部
障害者雇用対策課
課長 土屋 喜久
主任障害者雇用専門官 白兼 俊貴
障害者雇用専門官 澤口 浩司
電話 5253-1111(内)5857
3502-6775(直通)

ハローワークにおける障害者の就職件数、4万件を超える

(平成18年度における障害者の職業紹介状況)

ハローワークにおける障害者の職業紹介業務については、平成15年度より年間の障害者就職件数に係る目標を設定して取り組んできたところであり、平成15年度、平成16年度ともに目標を上回る実績を上げ、平成17年度には対前年度比8.4%増の38,882件の実績を上げてきた。

平成18年度においては、対前年度比13.1%増の43,987件と、初めて4万件を超え、過去最高の就職件数となった。

就職件数が増加している理由としては、

- ①障害者の「働きたい」という意欲の高まり(新規求職件数の着実な伸び)
- ②企業側の取組の拡大(雇用失業情勢の改善に伴う障害者雇用意欲の高まり、コンプライアンス・CSRの観点からの障害者雇用の取組の進捗、雇用率達成指導の強化への対応等)
- ③ハローワークにおける取組の強化(就職件数などの目標設定・管理、トライアル雇用やジョブコーチ支援などの雇用支援策の積極活用、障害者就業・生活支援センターなどの関係機関との連携した支援の充実等)

等が挙げられる。

厚生労働省としては、平成19年度の障害者の就職件数について、対前年度3,500件増の目標を設定し、地域の関係機関と連携しながら、きめ細かな職業相談・職業紹介の実施や各種雇用支援策の活用等、積極的な取組を引き続き推進することとしている。

【平成18年度における障害者職業紹介状況(ポイント)】

- 就職件数は、対前年度比13.1%増の43,987件。(過去最高)
- 新規求職申込件数は、対前年度比6.2%増の103,637件。
- 近年、知的障害者及び精神障害者の就職件数の伸びが著しい傾向にあるが、平成18年度においても大きく増加。
- 産業別でみるとサービス業、製造業、卸売・小売業・飲食店、職業別では生産工程・労務の職業、事務的職業における就職件数が多い。

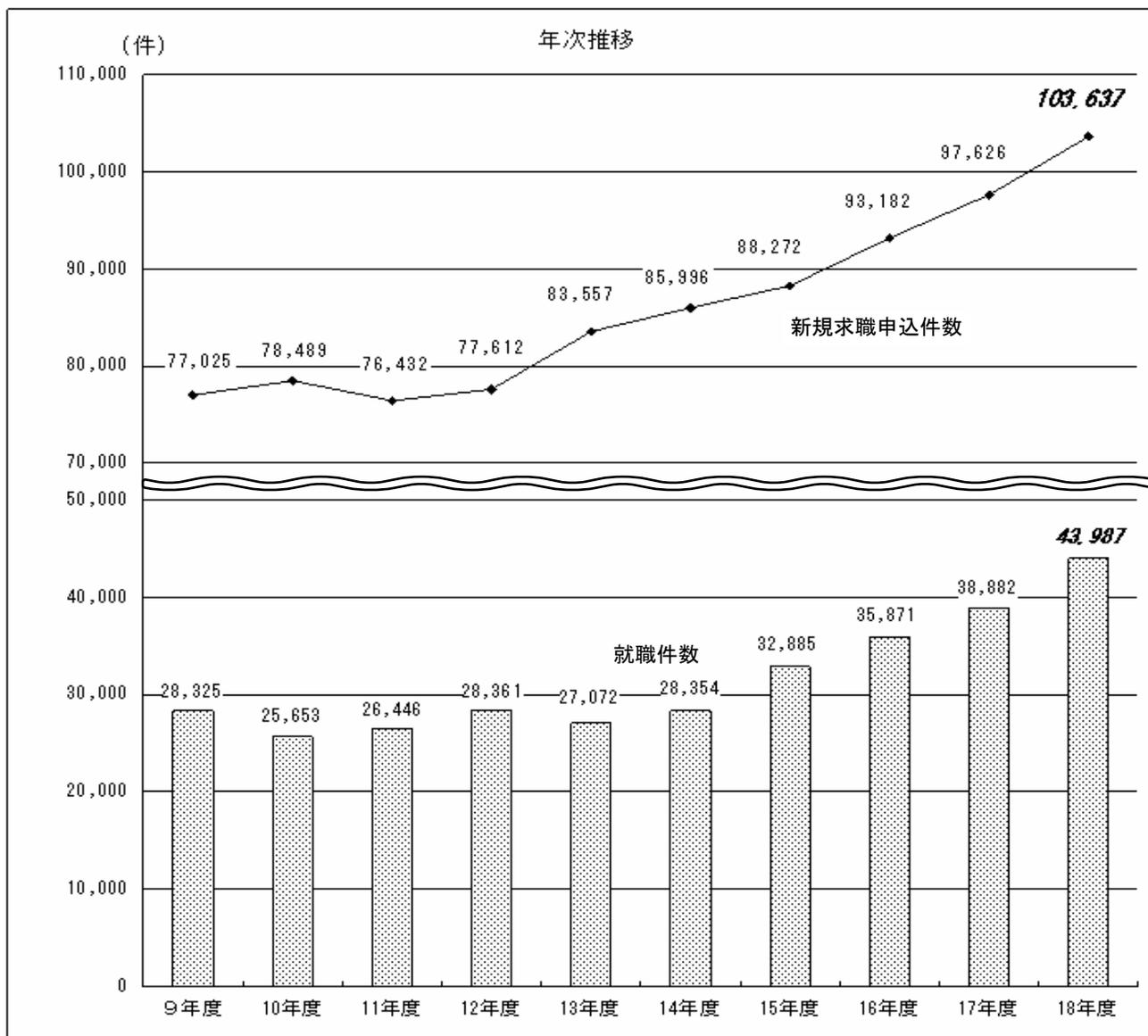
ハローワークにおける障害者の職業紹介状況

1. 概況

(件、人、%、%ポイント)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成9年度	77,025	3.9	102,715	7.5	28,325	0.4	36.8	△ 1.3
10年度	78,489	1.9	115,848	12.8	25,653	△ 9.4	32.7	△ 4.1
11年度	76,432	△ 2.6	126,254	9.0	26,446	3.1	34.6	1.9
12年度	77,612	1.5	131,957	4.5	28,361	7.2	36.5	1.9
13年度	83,557	7.7	143,777	9.0	27,072	△ 4.5	32.4	△ 4.1
14年度	85,996	2.9	155,180	7.9	28,354	4.7	33.0	0.6
15年度	88,272	2.6	153,544	△ 1.1	32,885	16.0	37.3	4.3
16年度	93,182	5.6	153,984	0.3	35,871	9.1	38.5	1.2
17年度	97,626	4.8	146,679	△ 4.7	38,882	8.4	39.8	1.3
18年度	103,637	6.2	151,897	3.6	43,987	13.1	42.4	2.6

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)



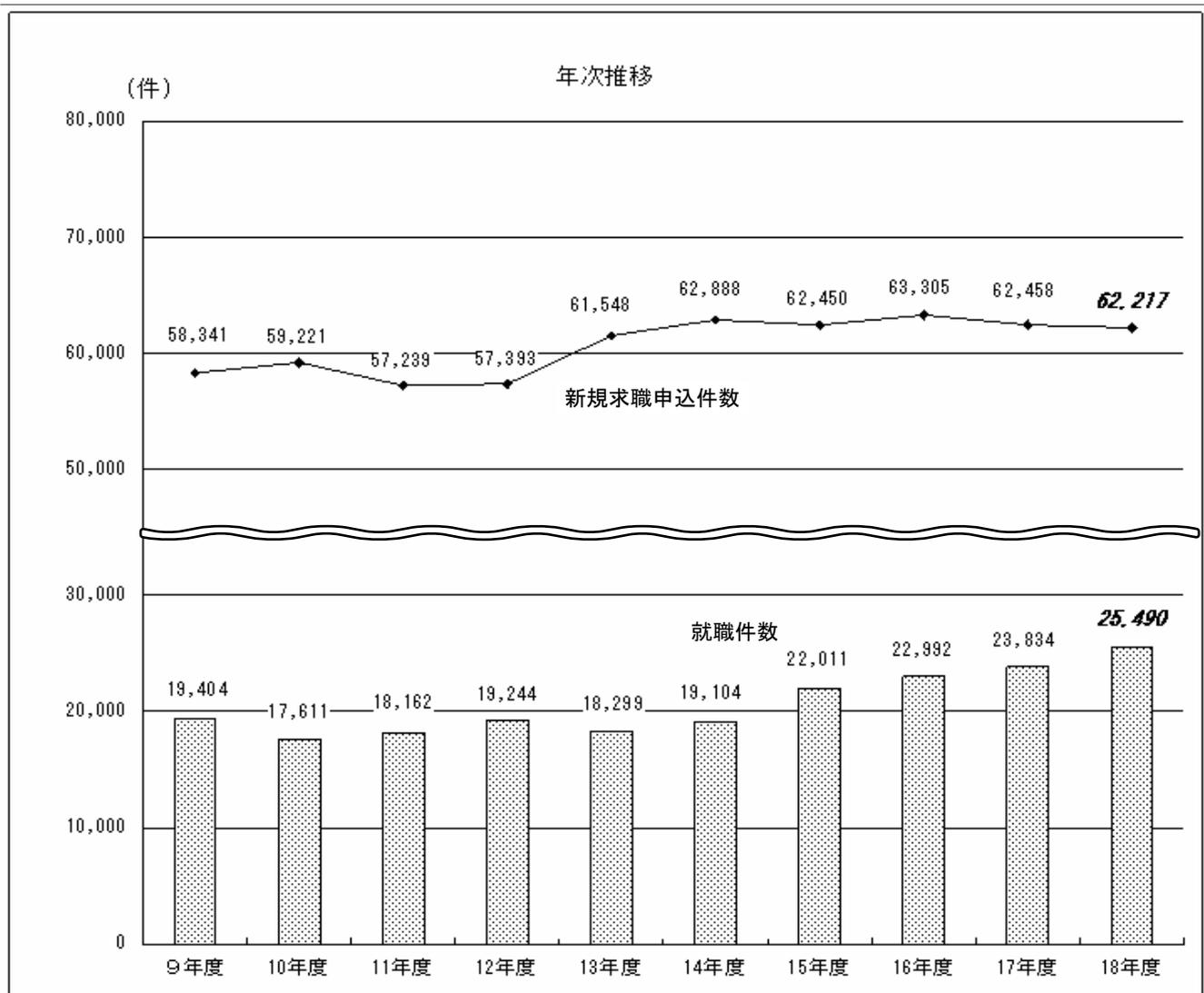
2. 障害種別の職業紹介状況

(1) 身体障害者

(件、人、%、%ポイント)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成9年度	58,341	3.8	78,433	6.1	19,404	0.5	33.3	△ 1.0
10年度	59,221	1.5	86,984	10.9	17,611	△ 9.2	29.7	△ 3.6
11年度	57,239	△ 3.3	93,492	7.5	18,162	3.1	31.7	2.0
12年度	57,393	0.3	96,172	2.9	19,244	6.0	33.5	1.8
13年度	61,548	7.2	103,605	7.7	18,299	△ 4.9	29.7	△ 3.8
14年度	62,888	2.2	110,807	7.0	19,104	4.4	30.4	0.7
15年度	62,450	△ 0.7	107,113	△ 3.3	22,011	15.2	35.2	4.8
16年度	63,305	1.4	104,580	△ 2.4	22,992	4.5	36.3	1.1
17年度	62,458	△ 1.3	95,571	△ 8.6	23,834	3.7	38.2	1.9
18年度	62,217	△ 0.4	94,109	△ 1.5	25,490	6.9	41.0	2.8

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)

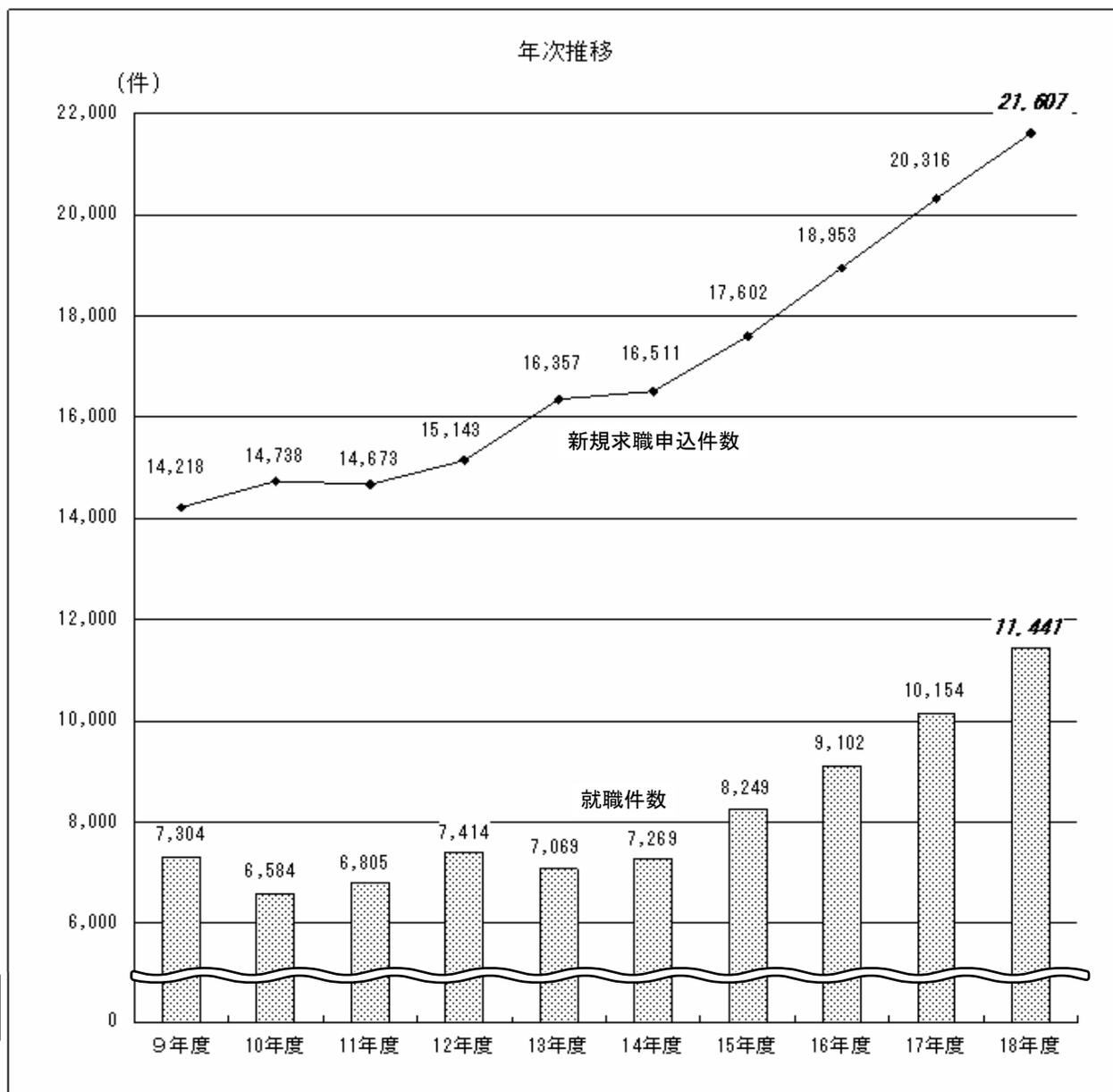


(2) 知的障害者

(件、人、%、%ポイント)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成9年度	14,218	3.5	18,241	9.6	7,304	△ 0.8	51.4	△ 1.4
10年度	14,738	3.7	21,473	17.7	6,584	△ 9.9	44.7	△ 6.7
11年度	14,673	△ 0.4	24,221	12.8	6,805	3.4	46.4	1.7
12年度	15,143	3.2	25,982	7.3	7,414	8.9	49.0	2.6
13年度	16,357	8.0	28,794	10.8	7,069	△ 4.7	43.2	△ 5.8
14年度	16,511	0.9	31,317	8.8	7,269	2.8	44.0	0.8
15年度	17,602	6.6	31,544	0.7	8,249	13.5	46.9	2.9
16年度	18,953	7.7	32,220	2.1	9,102	10.3	48.0	1.1
17年度	20,316	7.2	31,320	△ 2.8	10,154	11.6	50.0	2.0
18年度	21,607	6.4	32,870	4.9	11,441	12.7	53.0	3.0

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)

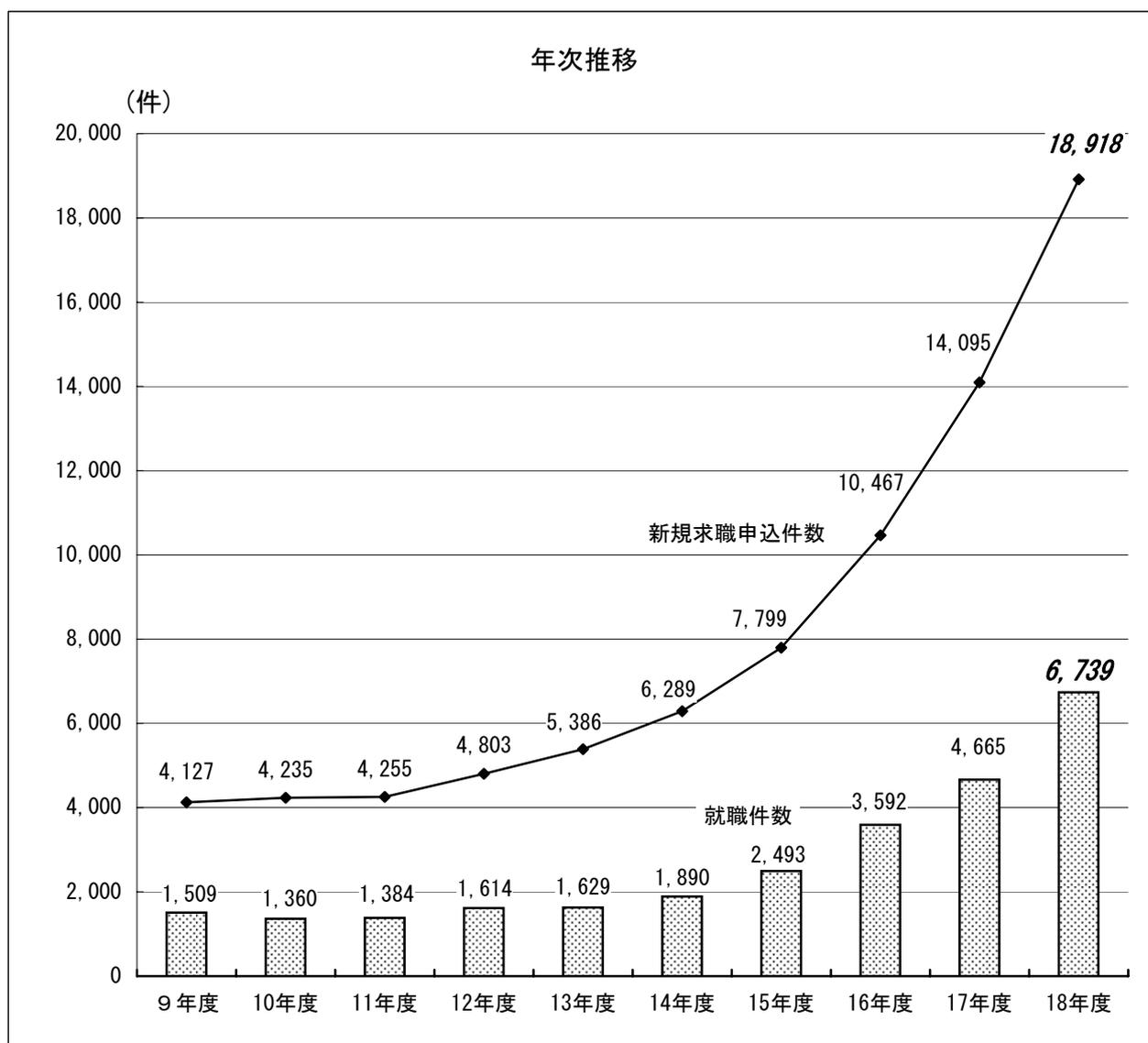


(3) 精神障害者

(件、人、%、%ポイント)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成9年度	4,127	14.4	5,657	22.3	1,509	6.9	36.6	△ 2.5
10年度	4,235	2.6	6,955	22.9	1,360	△ 9.9	32.1	△ 4.5
11年度	4,255	0.5	8,040	15.6	1,384	1.8	32.5	0.4
12年度	4,803	12.9	9,342	16.2	1,614	16.6	33.6	1.1
13年度	5,386	12.1	10,885	16.5	1,629	0.9	30.2	△ 3.4
14年度	6,289	16.8	12,553	15.3	1,890	16.0	30.1	△ 0.1
15年度	7,799	24.0	14,333	14.2	2,493	31.9	32.0	1.9
16年度	10,467	34.2	16,667	16.3	3,592	44.1	34.3	2.3
17年度	14,095	34.7	19,149	14.9	4,665	29.9	33.1	△ 1.2
18年度	18,918	34.2	24,092	25.8	6,739	44.5	35.6	2.5

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)



(4) その他の障害者

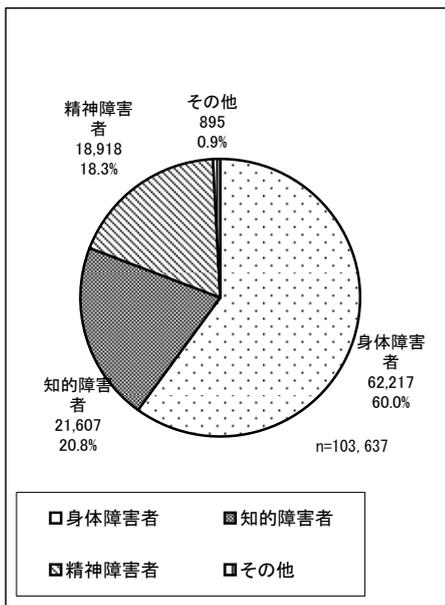
(件、人、%、%ポイント)

	新規求職申込件数		有効求職者数		就職件数		就職率	
	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度差	
平成9年度	339	5.0	384	9.6	108	△ 1.2	31.9	△ 8.7
10年度	295	△13.0	436	13.5	98	△ 9.3	33.2	1.3
11年度	265	△10.2	501	14.9	95	△ 3.1	35.8	2.6
12年度	273	3.0	461	△ 8.0	89	△ 6.3	32.6	△ 3.2
13年度	266	△ 2.6	493	6.9	75	△15.7	28.2	△ 4.4
14年度	308	15.8	503	2.0	91	21.3	29.5	1.3
15年度	421	36.7	554	10.1	132	45.1	31.4	1.9
16年度	457	8.6	517	△ 6.7	185	40.2	40.5	9.1
17年度	757	65.6	639	23.6	229	23.8	30.3	△10.2
18年度	895	18.2	826	29.3	317	38.4	35.4	5.1

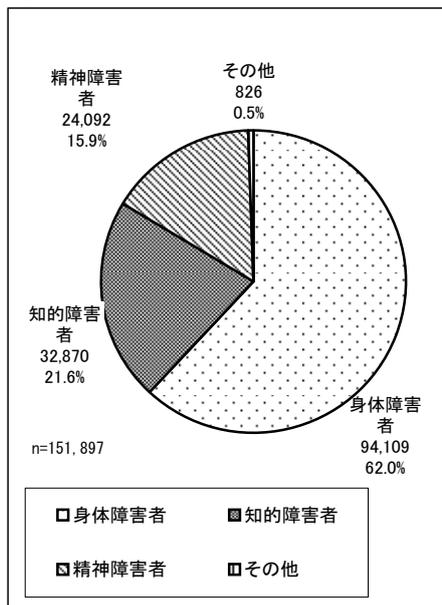
(注) 「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病者等である。

(5) 就職件数等における障害種別の割合（平成18年度）

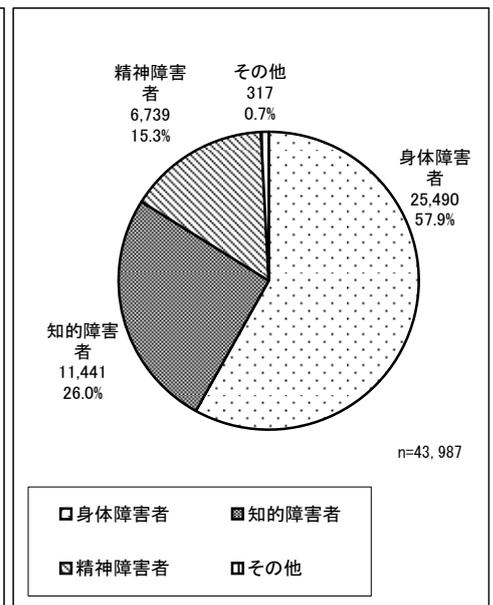
① 新規求職申込件数



② 有効求職者数

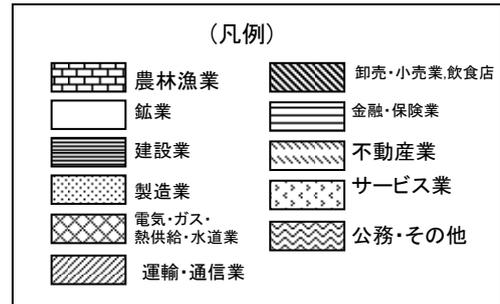
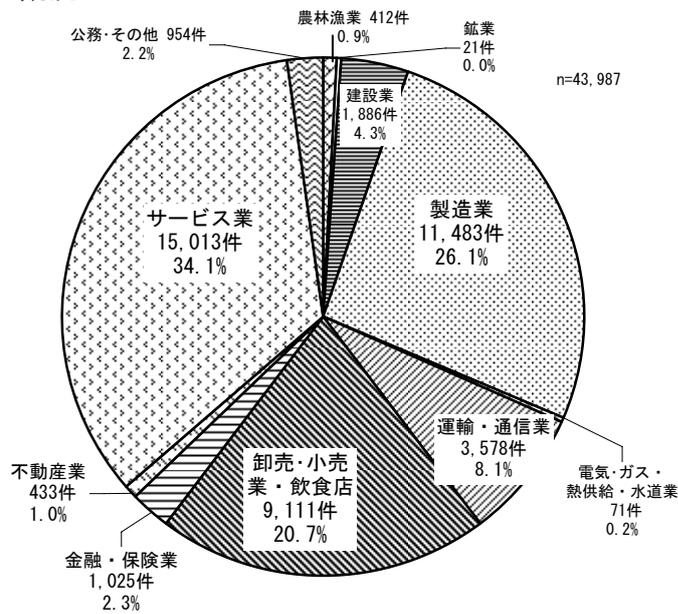


③ 就職件数



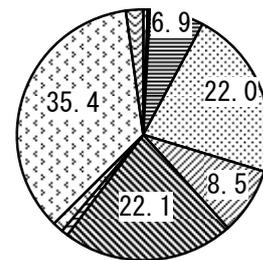
3. 産業別の就職状況 (平成18年度)

(1) 概況



(参考) 産業別の就職状況(障害者を含む全数)
(平成18年度)

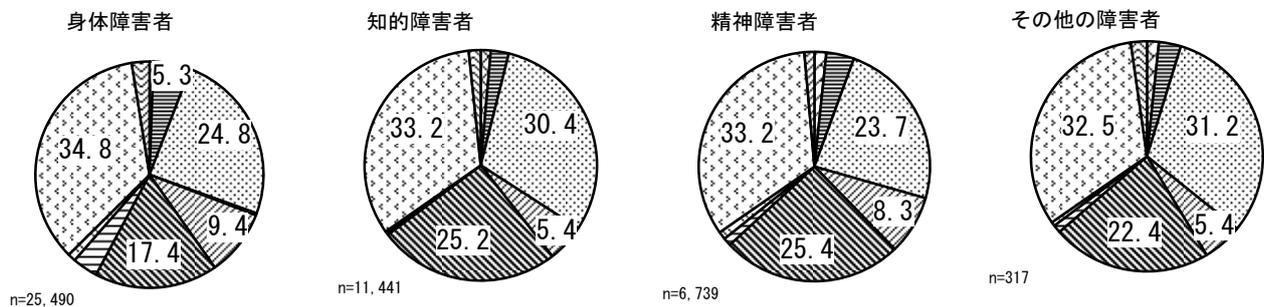
n=1,909,138



※ 数値は就職件数及び産業別構成比。

※ 数値は産業別構成比(%)。ただし、5%以上の産業についてのみ記載。

(2) 障害種別の状況



※ 数値は産業別構成比(%)。ただし、5%以上の産業についてのみ記載。

〈産業別にみたときの特徴〉

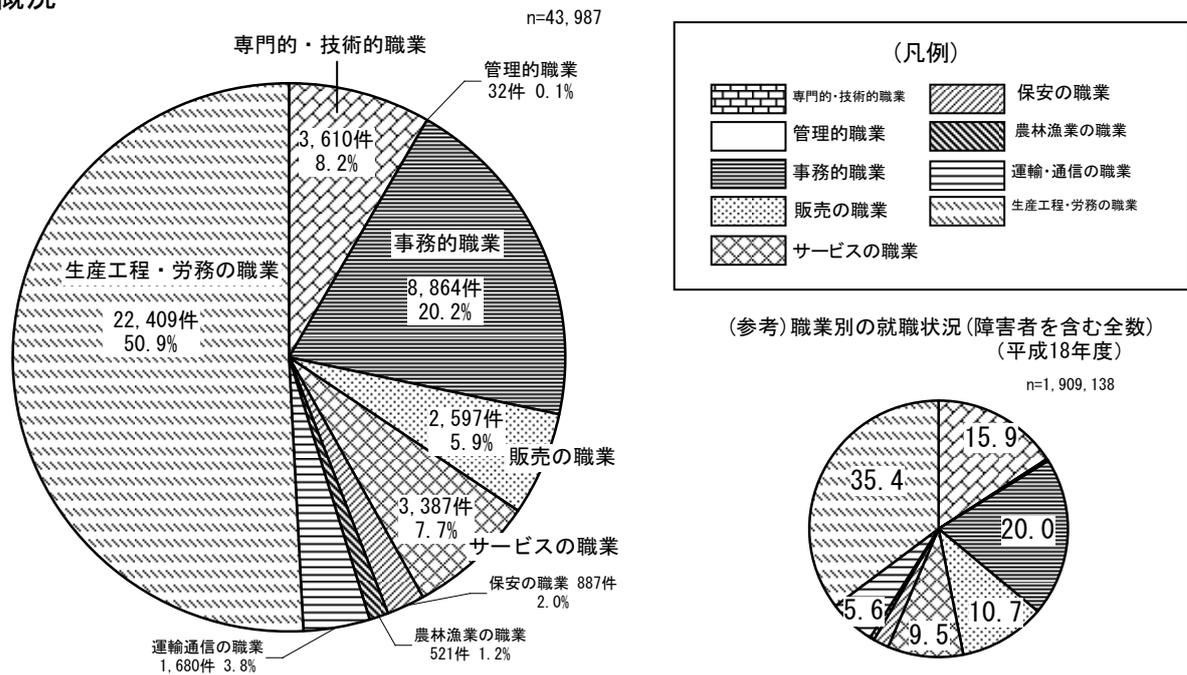
○産業別では、「サービス業」(34.1%)、「製造業」(26.1%)、「卸売・小売・飲食店」(20.7%)における就職件数が多く、障害種別にみた場合も特に大きな差異は見られない。

○精神障害者については、就職件数が大きく増加しているが、産業別にみた場合も「電気・ガス・熱供給・水道業」を除く全ての産業において就職件数が大きく増加している。

(参考3参照)

4. 職業別の就職状況 (平成18年度)

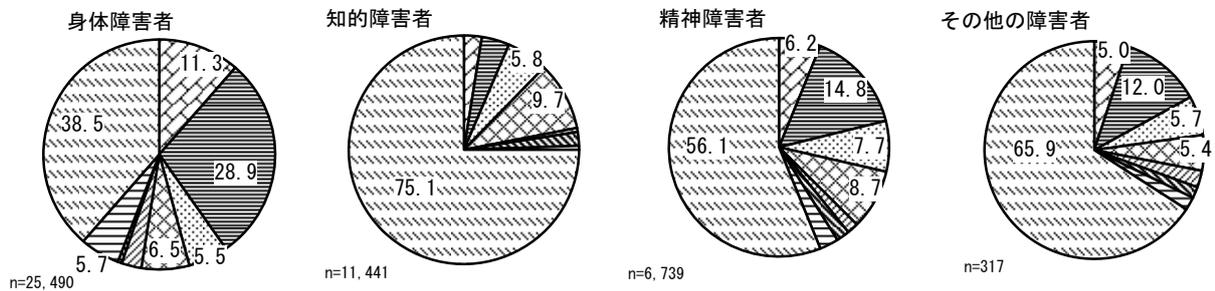
(1) 概況



※ 数値は就職件数及び職業別構成比。

※ 数値は職業別構成比(%)。ただし、5%以上の職業についてのみ記載。

(2) 障害種別の状況



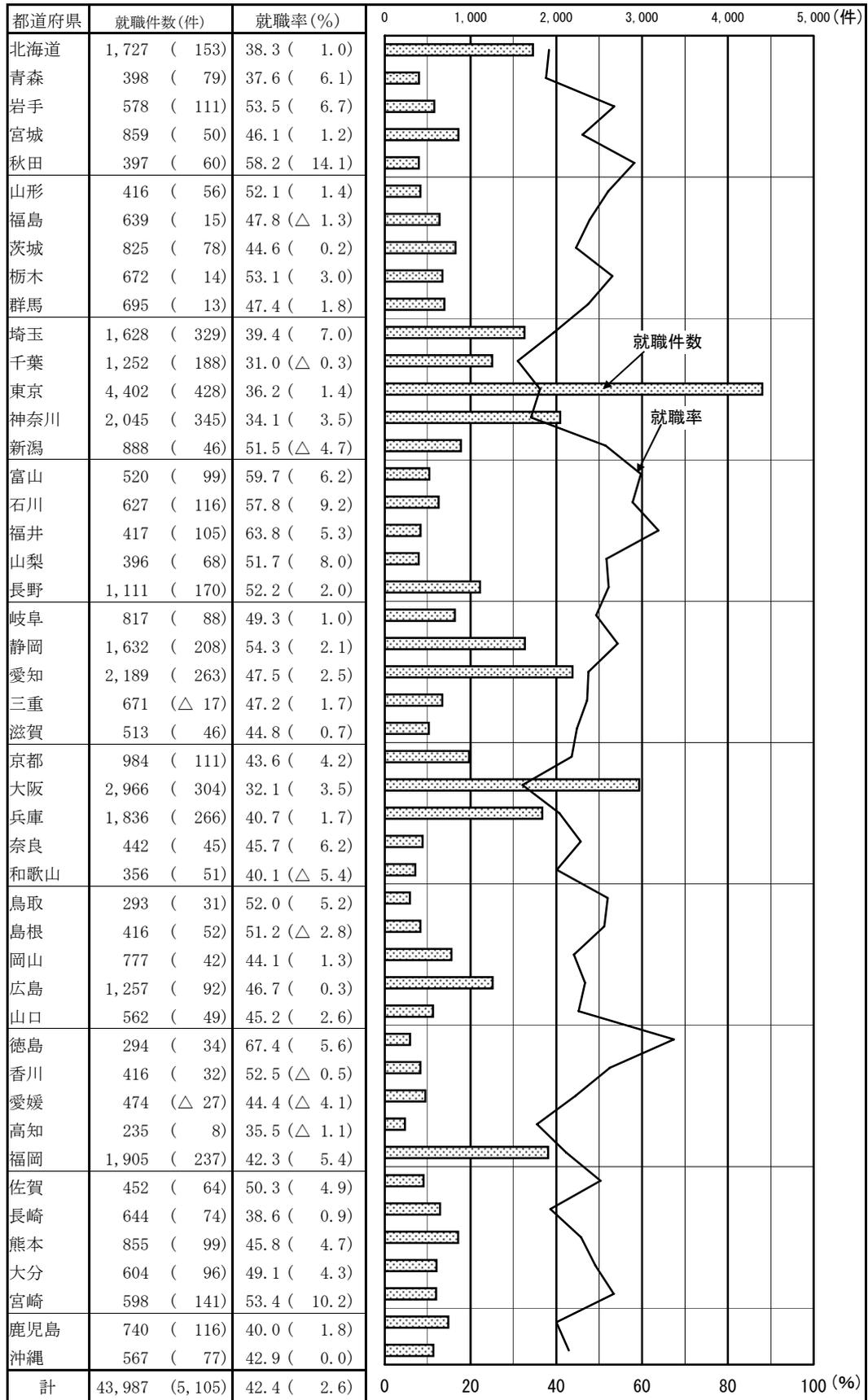
※ 数値は職業別構成比(%)。ただし、5%以上の職業についてのみ記載。

〈職業別にみたときの特徴〉

- 職業別では、「生産工程・労務の職業」が5割を占めており、「事務的職業」(20.2%)、「専門的・技術的職業」(8.2%)、「サービスの職業」(7.7%)、「販売の職業」(5.9%)が続いている。
- 障害種別でみると、身体障害者については「事務的職業」の割合が、知的障害者については「生産工程・労務の職業」の割合が、他の障害種別に比べて高い状況となっている。
- 知的障害者及び精神障害者については、「事務的職業」における就職件数の伸びが最も大きなものとなっている。

(参考 4 参照)

5. 都道府県別の就職状況(平成18年度)



※ ()は、対前年度差